

Q. 園児、児童の食物アレルギーへの対応は A. アレルギーに関する研修を予定



岩村 みゆき 議員



きょうは楽しいバイキング!

Q

昨年12月、調布市で食物アレルギーのある小学5年生の児童が給食を食べた後、亡くなるという事故が起きた。豊山町でも当事者意識に立ち訓練の実施など対策を講じるべきではないか。

そこで

①対応が必要な園児・児童は何人いるのか。給食でアレルギーを起したことはあるのか。
②教職員などへの対応の仕方など、研修してはどうか。

A

①園児は18名。児童・生徒は15名。

給食でのアレルギーの発生はない。

②一部の園の職員会議で、検査キットを実際に使用した。

今後は、保育士や調理員を対象とした食物アレルギーの研修を予定している。

学校では、教職員が^{*}エビペンの使用が認められた平成21年度に、サンプルを用いた研修を実施した。次

年度から、全職員を対象とする研修を実施する。

※エビペンとは、食物アレルギーなどによるアナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品

Q

築後35年程たつ給食センターは、毎年多額の修理が必要になってきている。町は検討に入っていると思う。

そこで、給食センターの建て替えはどうか考えているか。

A

給食センターは、施設全体の老朽化が顕著になっている。現在給食を調理するために特段の支障はないため、故障が発生すればその都度修理し、長寿命化を図る。

しかし、将来的には給食施設のドライ化の問題もあり、建て替えの方針を出す時期にきてると認識している。

Q. 給食センターの建て替えは

A. 建て替えの方針を出す時期と認識